

教えて!
赤メガネ先生

白石封筒工業(株) 代表取締役
 大阪府印刷工業組合
 サステナビリティ委員長

白石 陽一
 Shiraiishi Youichi

「21世紀のいい会社」って
 どんな会社ですか?



イシューキュレーター
 特定非営利活動法人
 チュラキューブ 代表理事
 大阪国際工科専門職大学
 工科学部 准教授

中川 悠
 Nakagawa Haruka

Vol.5 **アインズ株式会社
 谷口社長にインタビュー**

地域に根ざし、未来を創る。

持続可能な挑戦がもたらした、
CSRスリースターの実績!



CSR = Corporate Social Responsibility
 (企業が社会や環境に及ぼす影響に対して責任ある行動を果たすこと)



アインズ株式会社 代表取締役社長
谷口 彰さん Taniguchi Akira

社内の様子もたっぷり見学させて
 いただきました!



創業明治10年、琵琶湖の豊かな水資源に育まれた
 アインズ株式会社は、その長い歴史の中で
 独自の品質基準を追求し続けてきました。
 また、近年は地域に根ざしたCSR活動にも力を入れ、
 その成果としてCSRスリースター認証を取得。
 これにより、印刷業界の常識を打ち破り、
 新たな価値を創造し続けています。

今回は、赤めがね先生と白石くんがアインズ株式会社を訪れ、
 新たな挑戦を牽引する谷口彰社長と谷康夫専務にお話を伺いました。
 その模様は、前編と後編の2回に分けて
 皆さまにお届けいたします。どうぞご期待ください。

**150年の歴史と地域への誇りを胸に
 環境と地域社会を守り続ける**

アインズ株式会社(以下:アインズ)は、
 明治10年(1877年)の創業以来、147年
 にわたり歴史を紡いできました。今、私
 たちは150周年という大きな節目を目前
 に、さらなる進化を目指して果敢な挑戦
 を続けています。創業当初は印刷業を基
 盤としてスタートしましたが、常に時代
 の変化を捉え、新たな価値を生み出すこ
 とで未来を切り拓いています。

現在、営業拠点は滋賀県を中核に、福
 井、三重、京都、大阪、名古屋、東京へと
 広がり、広大な市場に深く根付いていま

す。その活動は、印刷事業を超えて、企
 画・デザイン、マーケティングコンサル
 ティング、ウェブやアプリの開発といった
 デジタル事業にまで広がりを見せていま

す。環境に配慮した製品やサービスの開
 発にも力を入れており、そのひとつとし
 て、毎日サステナブルなアクションを確
 認できる卓上カレンダーを販売していま
 す。このカレンダーでは、売上の10%を
 お客様と当社がマッチングして募金し、
 森林保全活動を支援しています。また、

印刷用紙には「びわ湖環境ペーパー」を
 使用し、地域と共に持続可能な社会の
 実現に取り組んでいます。

さらに、地域社会との深いつながりも
 私たちの大きな強みです。滋賀県竜王町
 にある工場は、甲子園球場の約1.7倍に
 相当する広大な2万坪の敷地を誇り、その
 スケールを活かして地域社会と強く連
 携。環境に配慮した生産活動を積極的に
 推進しています。



アインズ株式会社 代表取締役専務
谷 康夫さん

**近江商人の「三方よし」の精神と、
 琵琶湖を守りたいという強い想い**

2009年にはISO 9001、2014年には
 ISO 14001(※1)という国際的な品質管
 理基準を、時代の変化に合わせて見直
 し、あえて返上するという独自の決断を
 しました。ちょうどその頃、世界的な企業
 でもISO認証を返上し、独自の基準で品質
 を追求する動きが見られ、私たちの取り
 組みが大きな流れの一部であったかの

ように感じられます。

2014年には全日本印刷工業組合連合
 会のCSR認定制度でツースター企業に認
 定され、さらに2017年には印刷業界で初
 となるCSRスリースター認証を取得しま
 した。CSRへの取り組みの根底には、近江
 商人の三方よしの精神(※2)と、滋賀県
 の象徴である琵琶湖を守りたいという強

い想いがあります。なかでもスリースター
 認証は、企業として社会的責任を果たし、
 地域社会との共存共栄を追求してきた
 成果が高く評価されたもので、私たちの
 成長と責任を象徴する新たな証であり、
 情熱の結晶です。



分かりやすいスライドで
 会社の取り組みなどを拝見!



会社見学のための多彩なツールも
 用意していただきました



社内には滋賀の美しい風景が飾られています

スリースター認証を受けた年には、「SDGs宣言」も掲げました。そして、SDGsの取り組みにおいても、私たちは取捨選択を行っています。SDGsは非常に幅広い目標ですが、その中でも弊社に深い関係の深い目標を絞り込み、効果的に取り組むことに注力し、琵琶湖の保全を中心とした水資源の管理や、地域社会への貢献といった部分に重点を置いています。というのも印刷業は、森林伐採やVOC(揮発性

有機化合物)の排出といった環境への大きな負荷を伴うため、私たちは10年以上にわたり、環境負荷の低減に真摯に取り組んできました。再生紙や大豆油インキの使用、VOCの低減、作業環境の改善、さらには水なし印刷(※3)にも、環境対策の一環として力を注いでいます。加えて、デジタル印刷技術も積極的に取り入れ、環境への負荷を抑えながら迅速な対応を実現しています。



工場内には環境や安全のためのさまざまな掲示物や取り組みが点在

アインズMLGs大賞と絵本に込めた 持続可能な未来への熱い願い

社員一人ひとりの意識を高めるために2021年からは、琵琶湖を象徴とする地域版のSDGsであるMLGsの普及を目的に、「アインズMLGs大賞」を開催しています。このプログラムは、全社員が参加

し、MLGsに関連する個人目標と、それに向けて実行した具体的なアクションを発表する場。目標達成に向けた行動を視覚化できるように、MLGsとSDGsのゴールを示すシールを作成し、各自の目標

シートに貼り付けることで、アクションの進展を「見える化」しました。これにより、社員が自身の成果を実感できる仕組みが整えられ、取り組みに対する意識と意欲が大いに向上しています。また

「Think globally, act locally」の理念を基盤に、誰もが無理なく続けられる「持続可能な」目標を掲げることで、日々の活動を着実に推進しています。

さらに私たちは、お子さまたちにもSDGsの重要さを伝えたいという想いから、株式会社サンリオさまとともに、ハローキティと一緒にSDGsを学べる絵本「Hello Kitty ぼくとわたしのSDGs ~世界のみならず2030年を考えよう~」を制作しました。この絵本は、世界中の人々の暮らしを見つめながら、SDGsの17の目標をわかりやすく紹介しています。世界

的な脱プラスチックの動きを背景に、絵本の表面の紙を傷から守るための加工に当社独自の脱プラ印刷を採用。さらに、印刷会社としての技術を活かし、紫外線を当てると絵柄が浮かび上がるソーラーインクを使用するなど、子どもたちが楽しく学べる工夫を取り入れています。これからも私たちは、次世代の子どもたちだけでなく、すべての人がSDGsに親しみ、楽しみながら学べるよう、創造的な取り組みを続けていきます。
(次号に続く)



MLGs マザーレイクゴールズ

琵琶湖を切り口とした2030年の持続可能社会の実現を目指す目標(ゴール)であり、琵琶湖版のSDGsです。

- 1 清らかさを感じる水に
- 2 豊かな魚介類を取り戻そう
- 3 多様な生き物を守ろう
- 4 水辺も湖底も美しく
- 5 恵み豊かな水源の森を守ろう
- 6 森川里湖海のつながりを健全に
- 7 びわ湖のためにも温室効果ガスを減らそう
- 8 気候変動や自然災害に強い暮らしに
- 9 生業・産業に地域の資源を活かそう
- 10 地元も流域も学びの場に
- 11 びわ湖を楽しみ愛する人を増やそう
- 12 水とつながる祈りを暮らしを次世代に
- 13 つながりあって目標を達成しよう



今回、谷口社長と谷専務から、CSRや環境への配慮について多くを学びました。特にISO認証を返上し、独自基準で進む姿勢には驚きましたが、CSRが単なる形式的なものではなく、社員全員が関わる具体的な行動であることも分かりました。今後、当社でもこうした視点を取り入れていけたらと思います。

ちなみに
白石の成長記録

ペットボトルキャップ、プルタブ
こちらの回収始めました!!

社内全体に浸透しづらいCSR活動ですが、まず会社がどの社会貢献に取り組むかの指針がとても明確なのが素晴らしいですね。また、若手社員が参加する委員会活動、家族とともに参加できるSDGsの取り組みなど、経営陣の皆さんが旗振り役となって社員を巻き込んでいこうという熱量の高さにも感動しました。

NEXT! 次号では、アインズが進めるソーシャルグッド事業について、さらに詳しく語っていただきます。地域と共に歩む企業として、どのような社会的価値を生み出しているのか、その具体的な取り組みに迫ります。今号の話の続きを楽しみにお待ちしております。

※1 ISO 9001, ISO 14001
ISO 9001は製品・サービスの品質向上にフォーカスを当てた規格。一方、ISO 14001は製品を作るうえで環境リスクの低減など環境にフォーカスを当てた規格。

※2 三方よしの精神
「三方」とは、「売り手」「買い手」「世間」の三方にとってプラスになる状態を目指すための経営理念。商売において売り手と買い手が満足するのは当然のこと、社会に貢献できてこそよい商売。

※3 水なし印刷
印刷時に、有害な廃液を排出しない「水なし平版方式」という技術を使い、印刷物を通じて地域社会の環境保全に貢献しています。